



第 20 号

平成18年5月1日
関西大学ギタークラブ
OB会 発行

機関紙編集委員会

上田 新平 (6期)

高本 健児 (9期)

(ホームページ)
<http://homepage2.nifty.com/kugc-ob>

機関紙発行20年

本紙「あるべじお」は昭和61年に創刊、以来年に1回発行され、今回で20号に至った。

「あるべじお」はOB会の年間行事の報告や予定・OB間の交流・現役生の現状等々に加え、一般会員の投稿記事を掲載している。創刊号の一般会員の投稿者は16名。第2号は10名、第

3号は13名、第4号は15名と2桁数は維持されてきたが、ここ数年は、第19号が1名、第18号が2名、第17号が1名と低迷してきている。そして記念すべき20号はページ数もこれまで最少の4ページにとどまった。

毎年11月に発行してきたが、第20号の発行が5月になってしまいました。

発行が遅れた事を深くお詫びします

平成17年度は幹事会を始め演奏会などOB会の行事は「現役合同リクレーション」を除いては何一つ行なわれなかったため機関紙の制作に至らなかった。平成18年に入り、OB有志の参加事業ではあったがOB会

に対する現役生よりの正式な要請に答え、現役生への演奏指導が行なわれた。その模様とギター関係者主宰の花見会がこの春開催され、併せて機関紙の記事としてようやく発行にこじつける事が出来た。

幹事会

本会はここ数年、ほぼ35〜40期・すなわち35〜40人に及ぶ期幹事に出席を要請しているが出席率は15%〜せいぜい20%で、しかも出席者の顔触れが毎年ほぼ一定している事も重要な問題点である。提議も決議も一般会員にとっては全く「蚊帳の外」と云わざるを得ず平成17年度は中止した。

OBコンサート

「昔とった杵柄」現役時代の晴々としたステージを蘇らせた。そんな思いから平成5年春、OBコンサートは現役時代の出演者数を遙に凌ぐ88名のOBが出演して開催された。後4年に1度、第2回、第3回と開催した。そして第4回のコ

ンサートを開催すべく、20期の本郷さんが準備のための実行委員長として委員を求めたところが参加者はゼロ。準備活動は保留状態に至っている。

独重奏演奏会

OBコンサート以外に独奏・重奏のみで構成される現役生にとっても関大独自の演奏会。

平成7年秋に第1回が開催され、平成16年には第8回演奏会を開催した。翌17年に新大阪のKOKOPLAZAを予約し出演者を公募したが、エントリーするOBは前回、前々回の出演者が殆どで、それも減少の一途である。とても開催には至らない現状だ。しばらくは冷めた熱の上昇具合を見守りたいところか。

総会

総会はOB会にとって最も重要な行事でこれまで2年毎に開催されてきた。OB会の行事報告、役員紹介、決算報告やギター部顧問教授の挨拶、また決議なども行なわれる会合でもあるが、その後の懇親会は期を超えて友好を深める懇親会も重要なイベントだ。

機関紙

機関紙は創刊以来20年が経過したが、冊子を制作するべく筆量が満たされなければ制作には至らず今秋、21号の発刊の可能性は低い。従って簡単な情報はHPで網羅していく事になると思われる。また大イベントの開催時などに復活される事も有り得る。

会員総数は六三八名に

平成17年度の卒業生は16名、期幹事は元部長の横関隼人さん。18年度の卒業生は13名で期幹事は元部長の原真也さん。会員総数は六三八となった。

■お悔み申し上げます

第4期・中村日出夫さん
去る平成12年12月22日に他界されました。謹んでお悔み申し上げます。又本紙への掲載が遅れました事を深くお詫びします

現役合同リクレーション

あなたも参加してみませんか

このリクレーションはOBと現役生の交流を深めるため平成元年より開催された一大事業で、昨年で17回に至りました。これまで多数のOBの方々に参加して頂きましたが、ここ数年OB関係は殆どが幹事のみ参加となつていきます。この会はOB会の今後の発展の礎(いしずえ)になるもの一つでもあり非常に意義深い行事です。一般会員の方にも是非ぜひ参加して頂きたいと節に願っております。「OB対現役生」のように両者は別ものように表現されがちですが実は同じもので、現役生も4年後にはOBになるのです。この会は関大ギタークラブOB会の存続にも大きな関わりがあると思われまます。

第16回リクレーション

《服部緑地パーベキュー広場》

平成16年11月28日(日)、初の試みで「服部緑地パーベキュー広場」で開催しました。開催日は現役生が参加しやすい定期演奏会の後としていた為12月初旬になる事が多くアウトドアのレジャーにはやや季節はずれの感もあります。もう少し気候の良い頃で時間が取ればとも思いますが、又



相談に乗ってください。第16回の参加者はOBが4名、現地から徒歩5分という会長の9期・竹本さん、同じく9期・高本さん、16期・遠藤さん、19期・木村さん。現役生は部長の三回生・原さん、次期部長の二回生・川口さんを始め、四回生・高瀬さん、三回生・

第17回リクレーション

《淀川河川敷西中島公園》

平成17年12月11日(日)、今回で6度も開催された淀川河川敷でのパーベキュー、駅から5分の手軽さの割りに都会の真中とは思えない自然を満喫できるスポットです。参加者はOB9期・稲生さんとお子さん、同じく9期・高本さん、



春名さん、中島さん、松村さんの6名。パーベキュー終了後は、「学歌」や「逍遙歌」を歌う習慣がなくなった(逍遙歌についてはその存在さえ知らなかったという)現役生の要請を受けてOB4名が現役生と円を組み、木村氏の口上のもと高らかに、といきたいところ、そこは日曜日の屋外につき密やかにお披露目。その後、現地にて解散しました。

この花見会は平成14年に始まり、一度雨天のため中止したが、今年で4回目を迎えた。猪居ギター教室は生徒の多くがギタークラブ所属の学生であるため関大ギター部員も毎年参加、今年OBも10期の浅野さん等4名が参加した。OB会の現役合同リクレーションとはまた違った現役生も参加するため、より中の広い交流が深められる。場所は毎年、柴島浄水場で行なわれる。場所が禅寺駅前で行なわれている。

猪居信之
ギター教室主宰

花見会



徒の多くがギタークラブ所属の学生であるため関大ギター部員も毎年参加、今年OBも10期の浅野さん等4名が参加した。OB会の現役合同リクレーションとはまた違った現役生も参加するため、より中の広い交流が深められる。場所は毎年、柴島浄水場で行なわれる。場所が禅寺駅前で行なわれている。

16期・遠藤さん、19期・木村さん、そしてOB一年生の高瀬さんの6名。現役生は部長の三回生・川口さんと次期部長の二回生・玉井さんを始め、四回生・内田さん、春名さん、二回生・加藤さん、一回生・田之上さんの6名。現役生は毎年、部長と次期部長、指揮者等、新幹部

～近況報告～ 弦楽器ショップ・カワイをオープン

●URL <http://www.1.seaple.ne.jp/siskawai/>

第7期 河井 武貞



関大を卒業してからずっと押入の中で深い眠りについてたギター……。8年前の春に大阪出張の時の同期の早川君と飲んでたたま翌日「第2回OBコンサート」の練習会を見学、そこで早川君の現役時代を彷彿とさせる素晴らしい演奏を聴いて、興奮の中でフラメンコギターが眠りから目覚めました。地域のギタークラブでソロや合奏を、また5年前にネットで集まったおじ様5人で「千葉テイオフラメンコ」を立上げ、今ではカンテ(歌やパイレ(踊り)やカホン(打楽器)も加わって賑やかに踊り伴奏をやっています。ちなみに「テイオ」はスペイン語で「おじ様たち」と言う意味です。そのサークルにはやはりネットで私がいる事を知った近所に住む9

期の木村充夫君が尋ねてきて数十年ぶりに再会、今では彼も主力メンバーです。ネットの力って本当にすごいですね。

4年前に脱サラをしてJR代々木駅前に「ドトールコーヒーショップ」を開店、そして今年の9月に念願のオンラインショップ「弦楽器ショップ・カワイ」をオープンしました。

取り扱い商品はギター、マンドリン、バイオリン、とそのアクセサリ類で、モットーは「世界の銘器、良品を少しでもお安く」です。OB会のホームページのリンクに入りますのでぜひ覗いてみてください。ここだけの話、OBの皆さんには更に特別割引をしますので「何期OB」と言ってください。今の悩みは儲からないのに何故か忙しくてギターを弾く時間があまり無いことです。

ああ時間がほしい……。

OB有志が現役生に対し演奏指導

平成16年のOB会幹事会にて現役生より「演奏指導」の要請を受けた。

現在のギター部はゼミ活動は行なっておらず、先輩からの指導を受ける機会が減ってきている。この為、スケール、アルペジオの練習量は落ちてい



るし、「ムシ」「ネズミ」と呼ばれた技巧の基礎練習などは殆ど行なわれていない。「演奏指導」はもとより、新幹部は迎える新入生達への先輩としての指導方法等についてもアドバイスを求める機会としていた。

幹事会の約8ヶ月後、具体的な日程と共に正式な依頼を受け平成17年2月12日(土)、9期の高木氏、16期の坂田氏、19期の木村氏の3名が誠之館5階の練習場を訪れ、現役新3回生幹部6名、4回生2名に対して独奏の指導を行なった。

約1月半後の3月26(土)、OB同メンバーが訪れ引き続き再度独奏の指導を行なった。その後3回生幹部6名と共に大前の「串松」にて会食、交流の場を持つ事となった。

明けて平成18年3月25(土)、今度は現役新3回生幹部16名中14名が参加。大人数のためOB側も6期の西尾氏、16期の濱近氏、16期の遠藤氏、19期の木村氏、19期の稲谷氏の5名で対応した。その後は1年前と同様に「串松」で大宴会に至った。

名前も顔も全く知らない、が同じ釜の飯を食った仲間同士の交流は意義深いものがあった。今回参加の新3回生は45期生だ。参加OB最年長の西尾氏は6期、最年少の木村、稲谷氏でも親子ほどの年齢差の19期。演奏へのアドバイスに留まらず、クラブの歴史や逸話等々話が弾み現役生にとっても、わざわざ出向いたOB諸氏にとっても有意義な一日であった。



関西大学ギタークラブ
演奏会のお知らせ

第39回独奏演奏会

- 5/12(金) 18:30開演
- メイシアター小ホール

第43回合同演奏会

- 6/18(日) 18:00開演
- 高槻現代劇場中ホール

第44回定期演奏会

- 9/19(日) 18:30開演
- 高槻現代劇場中ホール

33年ぶり同期会

第10期 小柳豊茂



去る平成18年2月11日、12日にかけて、卒業以来33年経て初めて第10期の同期会を開きました。それまで個々に集まりはありましたが、同期全員に声をかけての集まりは初めてでした。

実は、平成7年に有馬温泉にて開催予定でしたが、その一週間前にあの阪神大震災発生し、あえなく中止となりました。今考えると危ういところでした。そして次の開催までは11年間かかりました。そのきっかけは平成16年に篠田氏が大病、大手術をしたと聞き、集まれるものだけで見舞いに行き、帰りの飲み会で「同期会をやるう」と、今回に至りました。

Eメールでした。いやー便利になりましたな。ただ一部の人は普段あまり



10期16名の内11名参加、なぜか11期の井上氏も臨時参加で12名となりました。もちろん当の篠田氏は参加です。

夕方6時からの宴会。かなりゆったりとした能舞台付の大広間で始まり、やが

て仲居さんのお酌。そんなはずなのに何故か全ての仲居さんが美人に見えて仕方がない。この歳になると若けりゃ全てそう見えるのか。そこは関大ギター部OBはまだまだローン抱えて今失業は出来ないと、かろうじて理性でくい止める。

使っていないのでEメールを入れたら後で電話してとのこと。この使い間違っていないか？しかし年齢にして55〜57歳あたりのおじさんがNHK教育番組の「パソコンを始めよう」のごとく何とか流れについて行くこと悪戦苦闘している姿が目に見えます。ともあれ、

この頃の話は専ら健康に関してで、下っ腹は出るわ、老眼に白髪に加齢臭、間接は油切れ、コレステロールは大分たまり、第一次定年を迎え、年金にはまだまだ遠くそれでも留まることなく走り続けている11名のおっさんを見ていると思わず涙、……、と思ったら

この涙、現役時代の合宿、定演の思い出話で笑い転げて出た涙でした。今から思うと30数年前前に、たった4年間しか一緒に過ごしていないのに会った一瞬で当時に戻れ、なんと中身の濃い時代だったのかと。



夜の9時。宴会は終わりにここから泊まりの強み、話題はとめどなく後は部屋にて2次会。誰かが隠し持ってきた焼酎(かならず一人はこんな人がいます。)に、つまみは近くのコンビニ。しかし当時と違って、おっさん朝が早いせいかわるのも早い。やがて一人寝、二人寝と自然に就寝。部屋は合宿と同じく5〜6人部屋2つ。翌朝、朝風呂、朝食後、10時現地にて自由解散。次は又10年後か？